

# EPAハノイ便り

6月号

平成29年6月30日

ARCベトナム校発行

## EPA第5陣候補者たちの作文

早いもので、もう6月も終わろうとしています。7月になると、すぐに第1回日本語能力試験が実施されます。候補者たちもできればこの試験でN3に合格したいと、必死に勉強に取り組んでいます。今月号では、この6か月間の授業で書いた候補者の作文を紹介します。どうぞお楽しみください。

\*\*\*\*\*

## 日記



ゴ・ティ・トゥー（12組）

今日はいいい天気だから、ホアンキエム湖の辺りでゴミを拾った。ルームメイトとボランティアクラブ22人でバイクタクシーで行った。ホアンキエム湖の辺りは歩行者が多いから道にゴミを捨てる人もたくさんいる。道がきれいになるように行った。

9時にチャンティエンプラザに集まった。2チームに分けた。1チームずつホアンキエム湖の周りを時計

周りと反時計周りに行った。2人で袋1つ持って行った。ハノイ経済大学のドクさんで行った。ドクさんはハンサムな男の人だ。やはりゴミがたくさんあった。ペットボトルとかおカしの袋とか捨ててあつた。

しゃべりながらゴミを拾って、行くのは楽しかった。晴れで、ちよつと暑いけど、木がたくさんあるから、あまり疲れなかった。40分ぐらいでできた。それから、みんなでチャンティエンアイスを食べに行った。

日本語の勉強は忙しいから、毎週行けないかもしれないけど、きれいな道のほうが好きだから、できるだけ参加するようにする。おもしろくて、役に立つ仕事だと思う。

\*\*\*\*\*

## 私のゆめ



フアム・ティ・トイー（6組）

私のゆめは日本へ働きに行つて、たくさんお金をためる事です。ためたお金で両親に新しいうちをたてて、自分のしせつを作るつもりです。

そのために日本語を勉強しています。

今のうちは古くなりましたが、なかなかかしゆうできません。毎日両親がいつしようけんめい働いていますから、私がお金をためて、両親を手伝いたいです。そして、私は子どものときから、お年寄りが大好きで

す。みんなを手伝って、元気になると、私もうれしくなります。

高校を出て医大に入りました。ベトナムでなかなか仕事が見つけれません。ですから、今EPAにさつかしています。日本語はむずかしいですから、毎日とてもたいへんです。今年の12月、N3に合格したいです。それで、がんばって勉強しています。日本へ行ったら、日本で10年ぐらい働こうと思っています。今、毎日いそがしくて、たいへんですが、ゆめのためにがんばっています。

私はしょうらい、国へ帰ったら、ためたお金で両親に新しいうちをたてて、自分のしせつを作るつもりです。今、日本語を勉強することが一番たいせつなことです。



